

犯罪被害に遭われた方・御遺族の方へ ～愛知県犯罪被害者等見舞金制度の御案内～

殺人など故意の犯罪行為により不慮の死を遂げた犯罪被害者の御遺族、又は重傷病や精神疾患を負われた犯罪被害者の方に対して、経済的負担の軽減を図るための見舞金を給付します。

①対象となる犯罪被害

日本国内又は日本国外にある日本船舶若しくは日本航空機内において行われた人の生命又は身体を害する罪に当たる行為
(令和3年4月1日以降に発生した犯罪被害(過失犯除く)に限ります。)



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギュっとちゃん」

②給付が受けられる要件

犯罪被害の原因となった犯罪行為が行われた時において、愛知県内に住所を有する犯罪被害者及び御遺族

③見舞金の種類・給付額・給付対象者

○遺族見舞金 60万円

<給付対象者>

犯罪行為により亡くなられた犯罪被害者の御遺族であって、犯罪行為が行われた時に愛知県内に住所を有する第1順位遺族(以下の①～⑪の遺族のうち、最も数字の小さい遺族)

- 1、①配偶者(事実上婚姻関係と同様の事情にあった人を含む)
- 2、犯罪被害者の収入によって生計を維持していた犯罪被害者の②子、③父母、④孫、⑤祖父母、⑥兄弟姉妹
- 3、2に該当しない犯罪被害者の⑦子、⑧父母、⑨孫、⑩祖父母、⑪兄弟姉妹

(注) ○内数字は、給付を受けられる遺族の順位

(注) 第1順位遺族が当該見舞金の申請をしない場合、第2順位以降の遺族は申請をすることはできません。

○重傷病見舞金 20万円

<給付対象者>

犯罪行為によって、重傷病(療養の期間が1ヶ月以上かつ通算3日以上入院を要すると医師に診断された)を負った犯罪被害者御本人

○精神療養見舞金 5万円

<給付対象者>

特定の犯罪行為によって、精神疾患(療養の期間が3ヶ月以上かつ通算3日以上労務に服することができないと医師に診断された)を負った犯罪被害者御本人

(注) 特定の犯罪行為とは、殺人未遂、強盗、不同意性交等、不同意わいせつ、

略取誘拐、人身売買(殺人未遂以外の犯罪についても未遂を含む。)をいいます。

④給付がされない場合

- 犯罪被害者又は第1順位遺族と加害者との間に親族関係（事実上の婚姻関係を含む）がある場合（ただし、被害者が18歳未満の者を監護していた場合を除く。）
- 犯罪被害者が犯罪行為を誘発した場合
- 見舞金を給付することが社会通念上適切でないと思われる場合 等

⑤申請に必要な書類

- 愛知県犯罪被害者等見舞金（遺族見舞金）給付申請書
 - 愛知県犯罪被害者等見舞金（遺族見舞金）受給代表者決定申出書
 - 愛知県犯罪被害者等見舞金（重傷病・精神療養見舞金）給付申請書
 - 添付書類（住民票の写し、死体検案書又は診断書等）
- ※ 申請様式及び申請に必要な添付書類について、詳しくは愛知県のホームページを御確認ください。

⑥給付決定の取り消し・見舞金の返還

- 給付決定後、給付を受ける資格がないと判明したとき、偽りその他不正の手段によって給付決定を受けたと認めるときは、給付決定が取り消されます。
- 給付決定が取り消された場合、既に見舞金が給付されていたときは、返還しなければなりません。

⑦申請方法・申請期限

（申請方法）申請窓口宛て郵送又は直接御持参ください。

（申請期限）当該犯罪被害を知った日から1年以内

（ただし、犯罪被害が発生した日から7年を経過したときは、申請することができません。）

（申請窓口）

愛知県防災安全局県民安全課 安全なまちづくりグループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL 052-954-6176